

町連協だより

平成十三年度

千歳市町内会連絡協議会

定期総会開催

平成十三年度事業計画、収支予算案 新役員等承認される。

平成十三年度千歳市町連協定期総会が五月二十六日(土)午後一時より総合福祉センター四階四〇二号室に於て、全市町内会長等七十二名出席のもと開催されました。

宮尾会長挨拶のあと議長に新富三丁目清水総務部長を選出、議案審議に入り鳴海総務部長より平成十二年度事業報告、事務局より収支決算報告があり満場一致で承認されました。

引続き平成十三年度事業計画案及び収支予算案が提出され質疑応答のあと町連協の事業方針である「明るく楽しい

ふれあいのあるふるさとづくり」を合い言葉に努力することを確認しました。さらに理事退任に伴う理事補充案が提出され満場一致で承認されました。

また総会終了後、表彰式が行われ冒頭市長より永年会長職にある二名の方に感謝状の贈呈がありました。

引続き町連協



(平成13年度町内会連絡協議会総会)

第 9 号
平成13年10月1日
◆発行◆
千歳市町内会
連絡協議会
千歳市総合福祉センター
TEL(0123)27-2525
◆印刷◆
道央プリント
千歳市青葉6丁目1-8
TEL(0123)23-5535

会長表彰式に入り町連協理事、町内会役員ら功労者の方々が受賞されました。

その後祝賀会に入り受賞された方々の労をねぎらいながら終始和やかに懇談し全行事を無事終了しました。

尚十三年度までの当協議会の組織体制は下記のとおりに編成されました。

千歳市町内会連絡協議会組織図 (平成12年~13年)

凡例 * 新理事

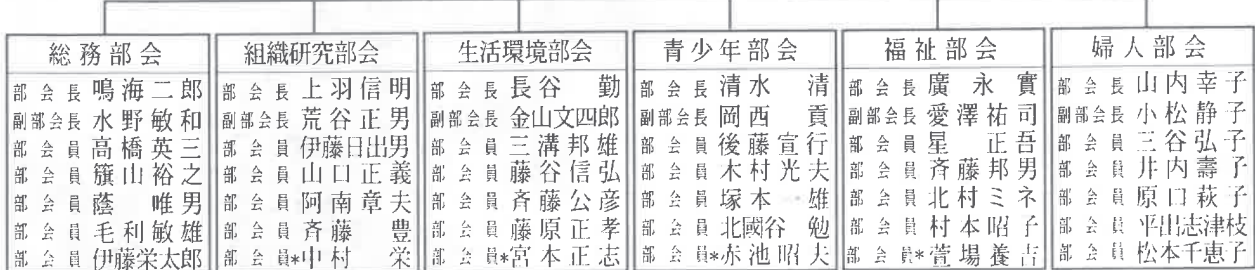
| 相 談 役 | | | |
|---------|---------|-------|--|
| 本 宮 義 輝 | 原 矢 義 文 | 矢 島 渡 | |

| 監 査 | | | |
|---------|-------|--|--|
| 大 矢 秀 計 | 高 野 功 | | |

| 町内会連絡協議会 | |
|----------|------|
| 会 長 | 宮尾 力 |

| 町内会連絡協議会 | |
|----------|---------|
| 副 会 長 | 藤原 幸雄 |
| 副 会 長 | 馬 洵 良作 |
| 副 会 長 | 佐 藤 捨 男 |

| 社会福祉協議会 | |
|---------|---------|
| 事 務 局 長 | 長 長 |
| 課 係 | 長 |
| 主 事 | 豊満 昌治 |
| ☎ | 27-2525 |



町内会のご紹介 (8)

● よいことは

● 積極的に取り入れる ●

北斗三丁目町内会

会長 蔭 唯男

北斗三丁目町内会の設立は、昭和五十五年十月五日、初代会長は、故福井信一氏でした。当時の戸数は百十四戸、現在は百八十五戸余り、昭和五十年代の好景気時代で新築ラッシュが始まった頃と記憶しています。

その後、昭和六十一年十一月末日町内会館を設立、やがて来るべき高齢社会を展望し、さらに、地域の諸会議、行事等が機能的に働くよう、会議室、和室、厨房等の設計がなされ、さらに、冠婚葬祭等のことも配慮され、建築されたものと思っております。

昭和五十年代後半は子供達の数も多く、繰り広げる各種行事も賑々しくしてくれましたが少子化と価値観の違いにより、盆踊りにも



目を向けなくなつてまいりました。町内会では数年前から盆踊りをなくし、夏祭りをやっています。内容は、西瓜割りやジャンケンポン、輪投げ、ビール早飲み大会及び抽選会をやっています。抽選会は、色々な意味があつて、抽選券を全戸に配布し、皆に楽しみを持つて頂くと同時に、発表時には会場まで来て頂くよう

にとの願いがあります。行事には多くの人が参加するのが条件です。

部活動の一部を紹介しようと、青少年文化部は、二年前からラジオ体操を実施し、地域親子のふれあいを大切にしようとして努力しています。

婦人部では、有珠山噴火被害の反省として、頭布作り、防災のための講演会を開催し万々に備えています。

これからも、交流誌を通してよいものは積極的に取り入れていきたいと考えています。

「ふるさと」の一節を育む

新富北町内会

会長 富樫 保

幸い縁あつて郊外居住区に住み、「ふるさと」づくりを微力ながら協力できた今、私はその蓄積事業風化の忍び音に堪えつつある。

しかし、住民活動組織町内会として啓蒙活動等継続に異論はない。

去る六月吉日、町内会創設三十五周年記念事業を行い長期役員等称揚につづく当日の

目玉は、草創期の由来をはじめ、以来保存した千数百点のスナップ・スライド等・二十数時間に及ぶビデオ(一九八三購入)の短時間合成作業・収録には描出の事業・人物に構成を計る心配りを必要とした。これらを改めて事業活動ごとに合成し五十分限定の独創的ビデオづくりは、経験豊かな協力者に恵まれ完成をみた。

往年、牧草畑の原野を共同分筆して生活道を拓き、自ら



電灯引込み架線を手伝う等、夢の一軒家入居の思い出は忘れ難い。最近では現代風家並に様変わりし、取巻く幹線道整備後を映し比べてみるととき隔世の感は尽きない。

描出の映像は、子連れの若妻も：今は、その子供も成人をこえて子育て中の親に変わり、また、元氣な挨拶を交わし歌声をあげていた高齢者の一部も他界し、涙を誘う場面に至つては、私語も消え観客は真剣に画面に観入っていた。

ここに歴史を飾る映像を視覚にとらえ、地域の変遷と質

(3)

素にして盛況に終始した事業活動をふり返り、近隣の絆を再認識し相互協力の重要性を説き、子ども会にも説明を加え次世代への継承に思いを寄せてみたのだが…。

終つて「エガッタ・エガッタ」と若かりし日々を懐かしむ批評のみでは、合成ビデオづくりの主旨に添え得ない一面を抱きながらも事実として、これまでの間培つた幾多の伝統事業の継承に重きをおき、やがては成就の姿を映すものとするならば、吾々一世として果たした役割を自負し、三十有余年の一節とは言い意義あるものを感じ入っている昨今である。

しのめ夏まつり

東雲町四・五丁目町内会

総務部長 奈良 孝 秋

東雲町四・五丁目町内会は世帯数百六十くらいの中規模町内会です。

千歳市の中心近くにありますのでドーナツ現象で高齢化と少子代が著しい町内です。

町内会の役員は、七十代の方々の経験と知恵を六十代、



五十代の人々の活動力で支えています。

東雲町四・五丁目町内会の最大のイベントは「しのめ夏まつり」です。八月四日に第六回目を実施しました。

夏まつりは、町内のだれもが参加でき、交流できる貴重なイベントだと思っています。子どもも、高齢者も、若者も、家族連れも皆が気軽に参加できる楽しい夕べです。

町内の空き地を会場にして、六人席と四人席の焼肉用コンロを二十四個並べます。その他に居酒屋テーブルセットを三セットも並べます。

食べ物はオール百円で食券



を販売しました。ジンギスカン二百グラム野菜付、焼き鳥三本、オデン三種、たこやき五個、串カツ二本、やきそば一皿、イカ焼一本、おにぎり二個なんでも百円です。

テントを張り照明を付け、ランタンを吊し、夜になると一層にぎやかです。のぼりや看板もあり立派なものです。

本年は、会場設営や食べ物のごしらえに三十名以上の方々が協力してくれました。

午後三時から八時までの五時間でしたが二百人以上の参加者があり、前部売り切れてしまいました。

今が正念場

あずさ町内会

会長 宮本 正志

子ども達は、楽しいふる郷の思い出を、大人には楽しい交流の場をと願つて今後も続けたいと思っています。

私たちの住む町名「あずさ」は平成六・八年北信濃第二土地区画整理事業によって急速に発展した新興住宅街です。住民間の横のつながりが

全くないことから、人々の相互理解を深め、地域にふさわしい生活環境の整備を計り、明るい潤いのある近隣社会を構築することが急務との認識



がいわば必然的に起き、平成九年町内会設立準備委員会が発足、翌年、平成十年4月総会において正式に、「あずさ町内会」が誕生した次第であります。最初は身近な問題からということ、ゴミステーションの設置・資源回収・街路灯・公園遊具の設置要請・公園内外の草刈・ゴミ拾い・フラワールードの花植え、みんなが集える夏祭り等を計画実施を致しました。

何分にも町内在住者の平均年齢が四十才前後と若く、町内会の役員経験者も少なく、暗中模索・右往左往しながら活動してまいりました。又、その活動を支える拠点となる施設を持たないことから充実



した活動にまで至っておりません。

このような事から、町内の皆様のご理解のもと、町内会館建設に向けて計画が進められているところであります。

今後高齢化社会が深刻化するなか地域の役割もより重要と考えます。又「あずさ」には未来を託す子どもたちがたくさんおられます。その子ども達が社会へ飛び立つためにふさわしい地域の環境づくりの一端を微力ではありますが担っていきたいと思っております。そのためには、「最初が肝心」という言葉もありますように、今が正念場と考えます。

一六名が参加、熱心に意見交換 平成十三年度

町内会青少年部長、保護司
民生委員、児童委員等
合同研修会開催される

町内会青少年部長等、保護司、民生委員児童委員等合同研修会が七月七日(土)午後二時より新緑鮮やかな支笏湖畔支笏湖観光ホテルを会場に開催されました。

一昨年より研修会のテーマ及び進行が輪番制に変更され今年度は町連協が担当して開催されました。
更生保護婦人会宮田会長、



全国高等学校PTA連合会北国谷監事、両氏の講演に引き続き全体会議が行われ、活発な意見交換と質疑応答がありました。午後五時研修会は無事終了しました。

引続き懇親会に移り和やかなうちに楽しい一時を過ぎ、研修会の目的を十分に達成することが出来ました。



「町内会生活環境部長等 花いっぱい推進地区を 視察研修」

生活環境部会

部会長 長谷 勤

生活環境部会では市内町内環境部長等四十五名参加のもと七月十八日(水)花いっぱい

い推進事業を展開している岩見沢市町内会連合会を訪問しました。同連合会から事業内容等の説明を受けたあと、同市駒園町内会の花いっぱい推進事業の実施状況を視察研修、そして午後には札幌市百合が原公園を視察し、意義ある研修を終了しました。



編集後記



冷夏だった今年の夏も過ぎ去り、季節は初秋の爽やかな日々へと移り、日々是好日となりました。

各町内会の夏まつりも不順な天候の中、それぞれ苦労しながらも短い北国の夏を楽しみ盛会だったことと思います。

町連協だよりの町内会紹介も回を重ねて八回目となり各町内会の抱える問題点が、それぞれ地域の特性により異なり、改めて今後の各町内会活動の方向性の一端を示唆し、考えさせられました。

町連協だよりが、これからも意義ある情報交換の指針になるよう一層紙面充実に努力して参りたいと思いつつこの稿を終ります。

編集委員

- 鳴海二郎 水野敏和
- 籾山裕之 高橋英三
- 蔭 唯男 毛利敏雄
- 伊藤栄太郎

★事務局

豊満昌治